

# 大阪学芸中等教育学校 『学問探究団 RYS』 活動レポート

## Episode32: 「福祉の仕事って？」

2014年1月21日(火)・22日(水) 進路指導部

1月21日(火)・22日(水)、住吉区の「社会福祉法人 ライフサポート協会」に6名の生徒が2日間の介護体験に行ってきました。当日は、「住吉第二地域在宅サービスステーション なごみ デイサービス」と「小規模多機能型居宅介護 大領地域の家であい」の2つに分かれて、高齢者福祉の実態や働くことの大変さを学んできました。

### ◎ 9:40 集合(南海高野線「住吉東」駅)

みんな動きやすい服装で集まりました。この後の体験がどんなものか少し不安そうな顔をしていました。

### 【午前 デイサービス「住吉第二地域在宅サービスステーションなごみ」】

午前中は、「住吉第二地域在宅サービスステーションなごみ」にお邪魔しました。この施設は、通所介護を行っており、個別の支援計画をもとに生活の基本を大切に、ひとりひとりにあった入浴スタイルや排せつ介助、食事の提供を行っています。高齢者の方々がつながりを実感できる関わりを持てるような取り組みを行っていました。



### ◎ 10:00 自己紹介(オリエンテーション)

施設に着いてすぐに、利用者の方々に対して自己紹介を行いました。職員の方が大変盛り上げてくれて、すぐに打ち解けられる雰囲気をつくってくれました。兄弟の数、得意な科目など利用者の方々からどんどん質問が飛んできました。利用者の方々も高校生が来てくれたことに非常に喜んでいる様子でした。

### ◎ 10:20 体操～懇談

自己紹介が終わったら利用者の方々と一緒に体操を行いました。利用者の方々の中には、足が不自由な方もいらっしゃるので、座りながらでもできる体操を行いました。その時に口を大きく開けて声を出す動作がありましたが、それは声を大きく出すことによって、身体全体を伸ばす効果があるそうです。体操はカラオケの音に合わせて行われていました。



体操が終わった後は、懇談の時間になりました。利用者の方々は、リハビリのためのお絵かきやおしぼりを畳む作業をする人もいれば、介護体験に来た本校生と楽しくおしゃべりをする人もいました。高校生が来たということで、みなさん積極的に話しかけてくれて、生徒も楽しくおしゃべりすることができました。こんなに早く打ち解けられていることに驚くとともに、すごく微笑ましくも思いました。また、この時間に利用者

者の方々は、順番に入浴していました。入浴は、職員の方々が補助をしながら1人15~20分ほど入っていました。入浴後の利用者の方々は、非常に気持ちよさそうにされていました。

## ◎ 11:30 昼食

お昼前になると一旦おしゃべりや作業も止めて昼食の時間になりました。昼食の前に利用者の方々と一緒に、お口の体操を行いました。舌を大きく動かしたり、喉を大きく開く動作を行いその後の食事に向けて体の準備を行いました。

昼食の準備は、本校生も一緒に手伝いました。衛生のため三角巾を頭に巻き、エプロンをしっかりとつけてから行いました。慣れないことだったのか少し不安そうな様子でしたが、大きなトラブルもなく無事に準備を終えました。

昼食は、利用者の方々と同じメニューをいただきました。メニューはバランスも考えたもので構成されていました。利用者の方々の食べるスピードが思いのほか早くて驚きました。

昼食後に眠くなってしまった利用者の方は、併設されているベッドで横になっていました。またその場所は、普段リハビリのために使用されていて、急に体調が悪くなってもすぐに寝られるようになっていました。本校生は、昼食後40分ほど休憩をして午後からの体験に備えていました。



## 【午後 小規模多機能型居宅介護 「大領地域の家であい」】

午後からは、引率教員（遠藤）が「大領地域の家であい」に移動をし、そこで半日活动していた4年生の3名と合流しました。この施設は、高齢者の集いの場を提供する「通い」と自宅でのさまざまな支援に対応する「訪問」、ショートステイができる「泊まり」など多機能にわたる支援に対応できる体制が整っている施設です。

### ◎ 13:30 懇談

30分ほどお昼休みをとった後に、生徒は施設に戻り利用者の方々たちとの懇談に入りました。そこで将棋の好きな利用者の方 VS 本校生との将棋大会が始まりました。結果は、本校生が惨敗し、経験で勝る利用者の方が勝利しました。利用者の方は、非常に楽しそうに将棋をさしていました。他の利用者の方々は、カルタ取りをしていました。本校生も一緒に行いましたが、こちらもまた、利用者の方々には勝てず枚数を稼ぐことはできませんでした。高齢者の方たちとこのような交流をすることがほとんどない本校生には、貴重な経験になったと思います。また、この施設にはマスコットの存在のわんちゃんがありました。女子には大変なついででしたが、男子は終始吠えられていました…。このわんちゃんの存在は利用者の方々にとっても大きく、心を常になごませていました。



### ◎ 14:15 買い物

ひとしきり遊んだ後には、利用者の方々と施設に飾る花束を買うために買い物に行きました。足が不自由な利用者さんは、車イスを使用し、本校生が押してあげました。車イスで長居商店街に向かう途中の道路には、普段何気なく通り過ぎていた道にも多くの危険があることに改めて気づかされました。車や自転車はもちろんのこと、道端の小さな溝にも車イスだと気をつけなければいけません。本校生は不慣れながらも注意を払って車イスを押していました。

### ◎ 15:30 職員交流会～レポート記入

15:30 ごろになると一旦利用者の方々と別れ、今回の体験の反省を行いました。生徒からの反省のなかでは、「利用者の方と積極的に会話することができなかった」や「あいさつを元気よくすることができなかった」などそれぞれが今日感じたことを述べていました。反省のとき

には、去年高校を卒業して今回の体験先に就職した職員の方からお話をいただきました。その職員の方からは、介護の実態やなぜ高齢者介護の職を選択したのかなどのお話を聞きました。生徒は職員の方の話に熱心に耳を傾け、なかなか聞くことができない生の声を吸収していました。



## ◎ 16:00 体験終了～解散

16:00 になっていよいよお別れの時間になりました。一日お世話になった施設と利用者の方々に、最後は全員であいさつをしました。

### 【参加者の感想】

- 話すことが思いつかなくて静かになってしまったりしたんですが、いろいろな体験ができて良かったです。その人にあった話し方を心がけていて人との関わり大切さを知りました。
- 小規模多機能型についてはよく知らなかったのですが、利用している方も職員の方も様々な人たちがいてとても勉強になりました。利用者の方と将棋をさせて頂いたのですが、とても強かったです（笑）。
- 自分からなかなか話をできなかったのを皆さんに話しかけてもらったりして、嬉しかったです。笑顔で話してもらって嬉しかったです。○○ちゃんって言ってもらったり、カレンダー頂いたりして楽しかったです。完成させることができなくて後悔しています。一日楽しい体験をさせていただいてありがとうございました。みなさんに「ありがとうございました」と言い足りないくらい素敵な体験をさせていただきました。
- 色々な人と交流できました!!すごく楽しかったです。積極的に話しかけて下さる方もいて安心できました。色々なイベントを通して関わることができ、嬉しかったです。
- 初めての体験だったので緊張していましたが、利用者さんと接しているうちに慣れていきました。看護師の方がいることに驚きました。あと、今日の利用者さんの6割が認知症と聞いてびっくりしました。工作をしてよろこんでもらえたし、とても嬉しかったです。



受け入れて頂いた施設の皆さん

ありがとうございました!!

参加者一同